

## 経済倶楽部便り

◆東京◆ 中央高速道・笹子トンネルの天井板崩落事

故は、しばしば通過している者として衝撃的でした。旧道路公団を分割して誕生した所轄の中日本高速の当初の会長に旧知の元双日社長が就任し、民営手法で活が入ると期待していただけに、何よりそのずさんな点検には開いた口がふさがらない思いです。米国で同様の工法による事故が2006年に起こり、その報告書に問題点がはつきり書かれていたにもかかわらず、生かされなかったことも残念でたまりません。

1月の講演会は、神野直彦氏（東京大学名誉教授）、佐々木毅氏（学習院大学教授）、伊藤邦雄氏（一橋大学大学院教授）をお招きします。

新会員を紹介します。石田哲也氏、北御門孝・北御門孝税理士事務所所長、鈴木亮一氏。（塚田 紀史）

◆中部◆ 年末の総選挙は自民党の圧勝で終わりました。

自民党の得票率は民主党の約2倍増でしたが、議席数は約10倍増ということで、完全に2009年の逆パターンでしたが、重大課題の議論は生煮えのまま。当倶楽部の講演会では可能な限り日本の課題について取り上げるようにしてきました。12月も尖閣諸島問題で元防衛大学教授の孫崎亨氏が講演しました。孫崎氏の結論は日本の領土論に疑問を呈するものでした。つまり、日本は北海道、本州、四国、九州以外の島をすべて返還するとしたカイロ宣言、ポツダム宣言をサンフランシスコ講和条約で順守すると約束したからだというものです。講演後の質疑は白熱し、20分近く続きました。こうした見解の分かれる議論も講演会の活性化に今後必要だと感じた次第です。

1月の定例講演会は水谷研治・東京福祉大学教授、菅下清廣・スガシタパートナーズ代表、加藤直人・中日新聞論説委員を予定しています。（日暮 良一）